

2020年7月東大本番レベル模試 地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 下線の付け忘れは1問につき1点減点。
- ③ 指定用語不使用は，指定用語1つにつき1点減点。
(解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

- 1. <□□□□> 加点ポイント
- 2. □□□□× 事実に誤認あり
- 3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

第1問

設問A

(1) 3点

a-エ b-ウ c-ア d-イ

※4個正解 →3点 2~3個正解 →2点 1個正解 →1点 0個正解 →0点

(2) 3点

高温多雨であるため土壌は養分の分解と流失が進みやすく痩せており、森林や草原に火を入れて生じた灰を肥料とする必要がある。(2行)

【加点ポイント】

- ① (気候) 高温多雨／熱帯で降水量が多い →1点
- ② (土壌) 痩せている／養分が流失している →1点
- ③ (草や木を焼いて) 灰を肥料とする／灰が栄養分となる →1点

(3) 3点

暖流であるXが弱まると、オーストラリア東部の大気中の水蒸気量が減って降水量が不足し、c周辺では小麦の収穫量が激減する。(2行)

【加点ポイント】

- ① (Xについて) 「暖流」が「弱まる／流れが減る」 →1点
- ② (①の結果) 降水量が減る／乾燥する／雨が降らない／干ばつ(旱魃)が起きる →1点
- ③ (農業への影響) 小麦の収穫量が減る／小麦が不作となる／小麦が穫れなくなる →1点

(4) 3点

オーストラリアの中では高緯度なため冷涼でソバ栽培に適し、季節が正反対の日本にはその端境期にソバを供給することができる。(2行)

【加点ポイント】

- ① (d付近はオーストラリアの中では) 冷涼である／気温が低い →1点
- ② (利点として) 日本と季節が逆／南半球に位置する →1点
- ③ (②により) 日本の端境期にソバを供給(出荷／輸出)できる
／日本でソバが品薄な時期に供給できる
／日本とソバの収穫時期がずれる } →1点

設問B

(1) 1点 リアス海岸／リアス式海岸

(2) 3点

海面の上昇または土地の沈降によって山地の周辺が水に浸かり、尾根が半島や岬、一部の頂部が小島、V字谷が入り江や湾になる。(2行)

【加点ポイント】

- ① (もとの地形) V字谷／河川の侵食谷 →2点 (※「山地」のみ →1点 「U字谷」→×)
- ② (要因) 沈水／海面上昇／海進／土地の沈降で水に浸かった →1点

(3) 4点

もともとV字谷であった入江は水深が深く、外海より波が穏やかであるため、生け簀の設置や漁船の操業に適する。また、山地が海岸に迫るため、森林の腐葉土から豊富な養分が海に供給される。(3行)

※ [指定語句] 水深 波 腐葉土 3つ全て 下線付きで使用

【加点ポイント】

- ① 水深が深い →1点
- ② 波が穏やか →1点
- ③ 腐葉土が養分を海にもたらす →1点
- ④ (③の背景) 山地が迫る／森林が海岸に近い／海岸付近まで樹木が茂る
／流れ込む川の上流に植林している →1点

第2問

設問A

(1) 2点 (1点×2)

ア-N I E s / N I E S イ-A S E A N

(2) 1点 (完答)

第1次産業-20% 第2次産業-30% 第3次産業-50%

(3) 3点

円高や相手国での資本移動の自由化で製造拠点がアジア諸国に移転したほか、産業用ロボットの導入などで、工場の自動化が進んだ。(2行)

【加点ポイント】

- ① (製造拠点の) アジア諸国への移転/海外進出/グローバル化の進展 →1点
- ② (①の背景) 円高/国内人件費の高騰/相手国の資本移動の自由化/製造コストの削減 →1点
- ③ (国内の事情) 工場の自動化/産業用ロボットの導入/製造業の省力化 →1点

(4) 3点

税制面での優遇を行う輸出加工区で先進国の資本と技術を導入し、自国の豊富で安価な労働力を用いて輸出指向型工業を進めた。(2行)

【加点ポイント】

- ① 輸出加工区の設置/経済特区の設置/税制優遇地域の設定 →1点
- ② (①の目的) 先進国の資本を導入/先進国の技術を導入/先進国の企業を誘致 →1点
- ③ (①の背景) (自国の) 安価な労働力 →1点

設問B

(1) 2点 (1点×2)

U－知識 エ－生産者／対事業所

(2) 2点

X－中国 Y－日本 Z－韓国

※3個正解 →2点 1～2個正解 →1点 0個正解 →0点

(3) 5点

高度な技術やサービスを提供する業務は対面でのやり取りが必要であり、事業所が集中する大都市に集積する。情報処理などの単純で定型的な業務は、人件費や土地代が安価な地方に分散する。(3行)

【加点ポイント】

- ① (大都市に立地する業務として) 高度な技術やサービスを提供する業務 }
 ／法務／会計／コンテンツ／デザイン } 1点
 ／広告／ソフトウェア開発 }
② (①の理由) 対面でのやり取りが必要／高次の取引が必要／様々な意思決定が必要 →1点
③ (①の理由) 企業は大都市に集積／中枢管理機能は大都市に集中 →1点
④ (地方に立地する業務として) 定型的な業務／単純な業務／対面接触が不要な業務 }
 ／情報処理／データ処理／ソフトウェア製作／コールセンター } 1点
⑤ (④の理由) (地方は) 人件費が安い／土地代が安い →1点

(4) 2点

巨大地震や津波のリスクが高い太平洋沿岸県での立地が少ない。(1行)

【加点ポイント】

- ① (立地の共通点) 太平洋沿岸県での立地が少ない →1点
② (①の理由) 巨大地震のリスクが高い／津波のリスクが高い／東南海地震の危険がある }
 ／南海トラフを震源とする地震のリスクを回避する } →1点

第3問

設問A

(1) 2点 (完答)

アードイツ イーアラブ首長国連邦 ウーホンコン エー韓国

※4個正解 →2点 1~3個正解 →1点 0個正解 →0点

(2) 1点

ミャンマーで迫害を受けたロヒンギャが難民化して流入した。(1行)

【加点ポイント】

①「ミャンマー」から「ロヒンギャ/ロヒンギャ人」が流入した →1点

(3) 1点

おもに家事労働に従事するフィリピン・タイなどの女性労働者。(1行)

【加点ポイント】

★(1)で、ウーホンコンを正解していることが加点の前提

① 家事労働/家政婦/メイド/家事を手伝う →1点

(4) 2点

急速な高齢化と極端な少子化に伴う労働力の不足が懸念される。(1行)

【加点ポイント】

★(1)で、エー韓国を正解していることが加点の前提

① 高齢化/少子化 →1点

② (①による) 労働力不足 →1点

(5) 2点

トルコは中東紛争国から欧州への避難を求める人が、メキシコは中南米から米国への移住を望む人が、それぞれ経由地としている。(2行)

【加点ポイント】

① (トルコについて) 中東紛争国から欧州へ/シリアなどからEU諸国へ の通り道 →1点

② (メキシコについて) 中南米から米国へ/ラテンアメリカからアメリカ合衆国へ の通り道 →1点

(6) 4点

共にEU拡大後の域内や近接する北アフリカからの移民が増えた。イタリアは高齢化で需要の高い介護・家事部門に東欧出身者が、スペインは観光・サービス業に同じ言語を話す南米出身者が多い。(3行)

※【指定語句】 観光 言語 高齢化 東欧 4つ全て 下線付きで使用

【加点ポイント】

① (共通の要因として) EUの拡大/東欧がEUに加盟した/北アフリカからの移民増加 →1点

② (イタリアは)「高齢化により」「介護/家事/家政婦」部門に「東欧/ルーマニアから」 →2点

③ (スペインは)「観光」部門に「同じ言語を話す」「南米から」 →2点

※②③合わせて3点まで

設問B

(1) 2点

p-⑥ q-⑤ r-① s-③

※4個正解 →2点 1~3個正解 →1点 0個正解 →0点

(2) 3点

発展途上国への技術移転という趣旨に反し、高度技能の不要な職種の人手不足解消に利用され、低賃金労働に加え人権侵害も多い。(2行)

※【指定語句】 技術移転 高度技能 人権侵害 3つ全て 下線付きで使用

【加点ポイント】

① (技能実習制度の本来の目的として) 途上国(出身国)への技術移転 →1点

② (実際の技能実習生は) 高度技能が不要の労働が多い

／高度技能が不要の単純労働に従事

／高度技能が習得できない →1点

③ (問題点として) 低賃金/賃金未払い/ピンハネ/パスポート取り上げ/長時間労働/重労働

／劣悪な労働環境 など(何か例を挙げる)の人権侵害も多い →1点

(3) 3点

ドイモイ政策が経済発展を促し、低賃金労働力を求める製造拠点の移転だけでなく、市場開拓を図る日本企業の進出も増えている。(2行)

【加点ポイント】

① (ベトナムは) ドイモイ政策/市場経済の導入 により経済が発展した →1点

② 製造拠点の移転/ベトナムへの工場建設 →1点

③ (ベトナムでの) 市場開拓/製品の販路にする →1点